

奈留小中学校の特別の教育課程編成・実施計画

五島市奈留地区では、近年、水産業の不振に伴う人口流出や少子化が進行し、児童生徒数も減少している。このような厳しい環境の中で、教育水準の維持・向上を図るために、「学力の向上」と「社会力の育成」を2本柱として小中高一貫教育を平成20年度から実施している。

このことによって、英語教育に関しては、高校A L Tの小中学校での活用、小学5・6年での中学校英語教員による指導、中高英語教員の連携指導が可能となり、児童生徒の英語学習や国際理解に対する興味・関心の高まりやコミュニケーション能力の育成、基礎的・発展的学力の向上が期待できる。また、奈留実践に関しては、小中高の12年間を見通したカリキュラムの編成による系統的な指導を行うことで、故郷を愛し誇りをもてる児童生徒及び心豊かでたくましく社会力を身に付けた児童生徒の育成を図ることができると考える。

〈小学校〉

① 英語活動

- ・小学1・2年の「英語活動」は、総授業時数に17時間を増やして実施する。
- ・評価については、児童の学習の様子についてよい点や進歩の状況を文章により記述する。

② 英語科

- ・小学6年では、中学1年の教科書を早期使用し一部の内容を前倒しして学習する。

③ 奈留実践

- ・小学1～6年において「特別活動」と「総合的な学習の時間」を統合再編し、「奈留実践」を設置し、「ふるさと」（郷土学習）、「あすなる」（進路学習）、「かがやき」（学級活動）の3分野で構成する。
- ・小学1・2年は「特別活動」の34時間（35時間）を充てる。
（ ）内は2年生の時間
- ・小学3・4年は「特別活動」の35時間と「総合的な学習の時間」のうち75時間をあわせた105時間を充てる。
- ・小学5・6年は「特別活動」の35時間と「総合的な学習の時間」の70時間をあわせた105時間を充てる。

〈中学校〉

○奈留実践

- ・中学1年～3年において「特別活動」と「総合的な学習の時間」を統合再編し、「奈留実践」を設置する。
- ・中学1年は、「特別活動」の35時間と「総合的な学習の時間」の50時間をあわせた85時間を充てる。
- ・中学2・3年は、「特別活動」の35時間と「総合的な学習の時間」の70時間をあわせた105時間を充てる。